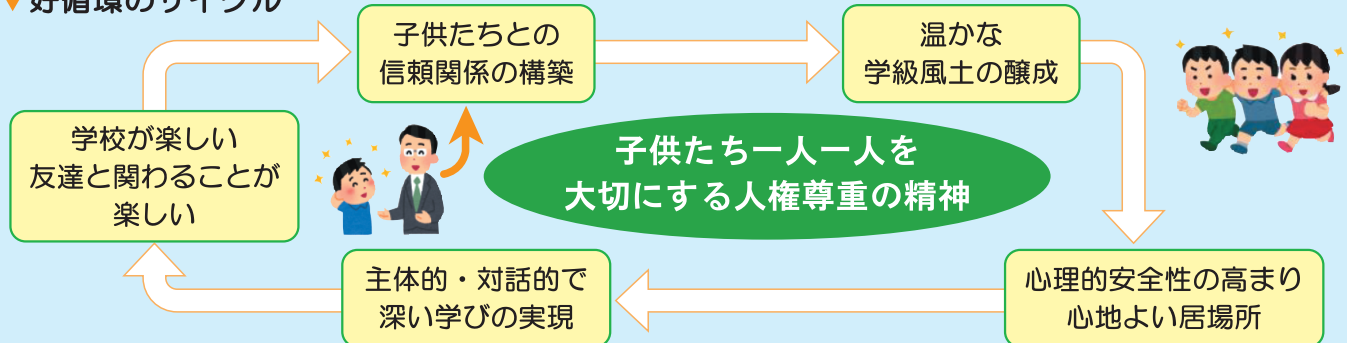


学級経営リフレクションシート 令和7年度の重点項目

学級経営の充実に向けて、令和6年度に市内教職員が行った学級経営リフレクションの結果から見てきた傾向をもとに、**令和7年度の重点項目**を紹介します。

学級経営の充実のための前提として 学級経営の充実に向けて、子供たちとの信頼関係をどう築くか

▼好循環のサイクル



※特別活動と埼玉県学力学習状況調査の分析より

学級経営リフレクションから見てきた学級経営の課題

25. 目指すべき学級の姿や目標を子供と共有し、形骸化することなく様々な場面で生かしたり、振り返ったりする。
28. 子供同士が折り合いを付けたり、納得解を導き出したりできるように、集団におけるよりよい意思決定の仕方を指導している。
30. 子供の発意・発想を生かした活動を支援し、子供たち自身が学級文化を創り出せるようにしている。

※第7回戸田市教育政策シンクタンク アドバイザリーボード参照

学級経営の充実のための前提として と **学級経営リフレクションから見てきた学級経営の課題** を踏まえて

学級経営を充実させるための令和7年度の重点項目

【落ち着いて過ごせる環境をつくる】

24. 間違いや誤った意見も大切に扱い、**子供たちが意見を述べやすい雰囲気づくりをしているか。**
※教師の指導観として、日々の授業の中で次のことを意識して子供たちに伝えていく。
教室は間違える場所であること。間違いや誤った意見を笑うことは間違っていること。自分の考えを伝え合うことで他の人の学びも深まること。

【子供の関係や集団の力を高める】

29. ルールや決まり等を決める際は、子供たちの意見を取り入れたり、話し合わせたりして、**子供自身が自己決定したと感じられるようにしているか。**
※教師の指導観として、次のことを意識して子供たちと関わっていく。
学級や学校を子供たちとともに創り上げていくこと。子供が自己決定する場面を意図的に計画し、自己決定したことに対して見届け、声をかけ励ましていくこと。

【例】教科等の指導と特別活動の指導の往還

学級活動(1)で、話し合いを通して合意形成を図り、実践活動を経て、振り返りを丁寧に行う。学級活動(2)(3)で、意思決定をし、自分の決めた目標の取組等を実践期間中、声をかけ見届ける。また、教科等の指導の中でも話し合いや合意形成、意思決定する場面を意図的に仕組み、そのよさを価値付ける等。

チェック

学級運営
リフレクション
シート



リフレクションシート



活用方法

全教育活動で、教科等横断的な視点を持ち、上記2項目に重点的に取り組み、学級経営の充実を目指しましょう。また、学級経営リフレクションシートを活用し、自分と子供たちとの関わりや、子供たち同士の関わりを客観的に振り返り、明日からのよりよい学級経営を目指しましょう。